

2016.05.23 : 都市整備建設協議会 本文

○菅原正和委員 私は地下鉄薬師堂駅を非常によく利用します。地下鉄開業時から冬の間、外で待つのは大変だということで、待合室がなくて、多くの利用者が駅構内でバスがくるのを待っておりました。駅構内でのバス時刻表がどこにあるかわからないということもいろいろ言われておりました。それで、簡易ではありますけれども、バス時刻表というラミネートをつけた時刻表というものを提示していただきました。今回秋ごろにはなるかと思っておりますけれども、表示の電子化と待合ベンチの増設、そんな市民の声を反映した形になり、当局の御努力に感謝を申し上げます。

さて、御説明ではバスプール側の壁面に設置するというのを聞きましたが、現在薬師堂駅ではバスの時刻表は2カ所に設置してあります。もう一つのほうにもディスプレイを設置することを検討したのか、お聞きしたいと思います。

○営業課長 薬師堂駅のバス時刻表示器につきましては、改札口を出まして右側のバス停のある駅前広場に向かう途中で、今委員の御説明いただきましたけれども、資料5でございますと一番下のところに薬師堂駅の写真が出ておりますけれども、これが改札口を出て右側に向いた写真でございまして、ここをずっと行きますと駅前広場に出るところでございます。その改札口の右側に向かってちょうどそこに1台のモニターを設置するというのと、あともう一つでございますけれども、駅前の改札口を出て左側のほうの定期券発売所のところに今現在ベンチを設置しております、そこにも設置するというので、合わせて2台を設置するという予定にしております。

○菅原正和委員 2台を設置していただけるということでよろしいのでしょうか。

○営業課長 現時点では2台の設置について検討を進めているというところでございます。

○菅原正和委員 多分バスの動線的には1台目はバスプールに向かうほう、こちらのほうが動線的には優先ということで、そちらのほうにはモニターということが多分検討されて、もう一方のほうはそんな検討でもなかったのかなという気はするんです。万が一、1台ディスプレイをそこに置くのであれば、もう1台についてはWEプロジェクトでつくったWEチューブというものがあると思うんです。WEチューブをつくるに当たっては400万円という予算を使っており、WEチューブは地下鉄の東西線の駅に設置して利用するというのが一番最初にあった計画ではなかったかと思えます。この間予算委員会のほうではそちらのほうをあちこちに提示して、それで皆さんに見ていただくという回答はいただきました。今回バスの結節が荒井駅と薬師堂駅と八木山動物公園駅と東西線はございます。であれば、6台あるのでそのうち3台は利用可能であるのではないかなと思うんです。あと3台に関しては市民のほうに見せてもいいのかなという私の考えなんですけれども、その点についてどうお考えでしょうか、お聞きします。

○営業課長 WEチューブを駅構内へ移設し活用することにつきましては、混雑時のお客様の動線への影響を初め、壁面の手すり及び床面の視覚障害者用誘導ブロック等の支障にならない位置の検証が必要になります。また、仮にただいま御説明させていただきましたとおり、バス表示器と同じ内容をそのままWEチューブのディスプレイに表示するとなりますと、画面の構成をバス時刻表示器に合わせた横型とWEチューブのディスプレイに合わせた縦型の二通りの画面構成を作成する必要がございます、その作成に時間を要することになります。したがって、当面はバス時刻表示器を設置いたしまして、お客様への案内を行ってまいりたいと考えております。

○菅原正和委員 私からちょっと数点お聞きしたいんですけれども、3月26日にイクスカとスイカの乗り入れが可能になりましたけれども、広報面で車内のポスター広告、市政だより、その他の広報などを行ったのは理解しておりますけれども、地下鉄車内での音声による広報をしたほうが良いと私が一度指摘しております。実施に至った経緯があり、そのときには何日から地下鉄のほうで車掌が直接判断しますというようなお言葉をいただきました。

私は余り国際センター駅まで乗らないんですけれども、この間G7開催のときに、薬師堂駅から国際センター駅まで乗りましたが、相互乗り入れアナウンスが一度も聞こえてきませんでした。実際どの部分でどんなアナウンスを行っているのか、お聞きします。

もう一つは、相互乗り入れ効果によって実数などがわかればお示ししていただきたいと思えます。

○営業課長 まず、私のほうからは地下鉄における車内の案内について御説明させていただきたいと思えます。地下鉄車内でのIC乗車券相互利用に関する御案内につきましては、5月9日よりイクスカで仙台近郊のJR線にお乗りいただけるようになりましたといった内容で案内放送を行っているところでございます。案内放送の実施に当たりましては、次の駅の案内など自動放送の間に行う必要がありますことから、現在は南北線では台原北仙台駅間、愛宕橋河原町駅間、東西線では大町西公園青葉通一番町駅間、薬師堂御町駅間などで案内放送を実施しております。

なお、委員が御乗車いただきましたG7のレセプション当日におきましては、G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議にあわせまして不審物等に係る案内放送に切りかえを行っていたことから、御案内できなかったものと考えております。

今後とも引き続きましてIC乗車券相互利用に関する案内を適宜行ってまいりたいと考えております。

○交通局経営企画課長 私からは相互乗り入れの効果と実数につきまして、御答弁申し上げます。

本年3月26日の相互利用の開始から4月末までの状況を確認いたしましたところ、速報値ではございますが、ICカード乗車券のチャージ金で乗車されたお客様のうち、スイカなどイクスカ以外のカードの利用割合は、地下鉄では平均で約25%、市営バスでは約15%でござ

いました。

また、イクスカによるJR線等の利用状況といたしましては、JRからの情報によりますと3月末の段階ではございますが、おおむね2,000件程度の御利用があったとのことでございます。今後とも相互利用が着実に進むよう周知に努めてまいりたいと存じます。

○菅原正和委員　今の説明にあったとおり、G7のときにはそういうことを優先したということで、そちらのほうは警備上の問題だろうというふうに思います。ただ、今後、私もそんなんですけども、ふとしたときにそれが使えるかどうかという判断よりも先に切符を買ってしまうという状況が起きるので、こういう広報はずっとしばらくはやっていただきたいとは考えております。

この間お話では大体1カ月ぐらいと言いましたけれども、もう少し長くやっていただいたほうが広報効果はあるんじゃないかと思っておりますので、その努力をしていただきたいと思います。

あと二つございました。実はゴールデンウィーク期間中の5月3日に実際地下鉄東西線に乗りまして八木山動物公園の実態調査を行ってきました。八木山動物公園駅で乗降のお客様に動物園の入場料を100円とする割引券を配付しておりましたが、どのような実績となったのかお聞きしたいと思います。

○八木山動物公園長　5月3日から5日の3日間の地下鉄東西線利用者の入園料割引の実績についてでございますが、3日間の入園者総数3万4352人のうち、約32%に当たる1万992人が地下鉄利用の入園割引を利用しております。

○菅原正和委員　私は当日初めて割引券をもらって入場が割引ということがわかったんですけども、まず地下鉄をおりて、入口でペーパーみたいなものを配付していました。ただ配付というだけで市民の方はあちこちにいるので、配付しているものをとるという方はなかなかないので、今後この配付方法というものをもう少し検討していただければいいのかなと思っております。

それと同時に、どういう事前広報をしたのか、その辺をちょっとお聞かせください。

○八木山動物公園長　事前の周知広報についてでございますが、4月の市政だよりに掲載するとともに、4月中旬以降、順次八木山動物公園のホームページ、地下鉄南北線、東西線の各駅のポスター掲示、図書館等の市内施設及び高速道路パーキングエリアへのチラシの配布、山形市、福島市の記者クラブへの情報提供などを行い、周知広報を図ったところでございます。

○菅原正和委員　では、今後動物公園というのはこのゴールデンウィークだけじゃなく、いろいろな機会があるかと思っておりますけれども、そういう割引というのは継続するものなのか。あと、ほかの機関でも仙台市にはいろいろな施設があります。東西線を使っていろいろな方が来るかと思っておりますけれども、こういう割引というのは検討しているのかどうか、ちょっとお聞きします。

○建設局長 動物園におきます地下鉄東西線利用者に対する割引につきましては、交通局のほうとも今後とも協議をしながら地下鉄利用、いわゆる公共交通の利用促進、そしてまた動物園の利用アップにもつなげてまいりたいと思いますので、引き続き調整をしていきたいと考えております。

それ以外の施設の部分でございますけれども、これにつきましては所管する局が多数ございますので、建設局以外につきましては当委員会からのお話ということで関係する局と、また先ほどの交通局のほうと調整させていただければというふうに存じます。

○菅原正和委員 東西線効果で渋滞の一定の改善は図られたようですけれども、八木山動物公園併設の駐車場に入場するために右折レーンがかなり渋滞したという現状が見られました。青葉山から上っていった県外の車が三、四割あり、そして、駐車場に入るのにまた渋滞をしているという状況があったかと思えます。それはどうやって改善していくのかをお聞きしたいということと、その下の国際センター、以前はこちらのほうで臨時の駐車場でシャトルバスを走らせていたと思えます。今回は地下鉄東西線が開業したということでシャトルバスはなしということだったんですけれども、地下鉄国際センター駅のほうの駐車場はすごいがらがらだったんです。県外の方はそのまま上がっていったということで、渋滞に拍車をまたかけているのかなど。それであれば、県外の方は国際センター駅に駐車をして、そこから地下鉄に乗っていただくだけでもあそこの渋滞緩和が図られるんじゃないかなと思うんですけれども、その辺どういうふうにお考えなのか、ちょっとお聞かせください。

○八木山動物公園長 まず、5月3日の右折レーンの渋滞の発生についてでございますが、仙台南警察署とともに現場の確認を行いまして、右折レーンを封鎖する臨時の交通規制の許可をいただきましたことから、翌日以降は渋滞が発生しませんでした。この交通規制が効果的でありましたことから、来年度以降も警察署と協議を行いながら対策を講じてまいりたいと考えております。

それから、国際センター横の仙台青葉山交流広場駐車場の利用についてでございますが、ホームページ、チラシ等での広報を行ったところでございます。動物公園といたしましては公共交通機関を利用していただくことが交通渋滞対策として重要であると考えておりますことから、御指摘のことも含めまして工夫してまいりたいと考えております。

○菅原正和委員 今答弁にもあったように、渋滞はちょっとしたことで招いたりとか防いだりすることができるので、いろいろな状況に合わせてその辺の対策を打っていただければ一番いいのかなと思っております。